

モード学園 コクーンタワー

所在地：東京都新宿区西新宿1-7-2
 建築面積：3,541.56m²
 延床面積：80,865.42m²
 構造・規模：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階 地上50階
 設計：丹下都市建築設計
 施工：建築／清水建設（株）
 電気／（株）関電工
 竣工：平成20年10月



繭（コクーン）をイメージした超高層学校建築が新宿副都心に完成。当建築の象徴的な構造躯体となるダイヤモンド形状に特注トラフ器具を配し、未来的な創造空間を創出しています。

3校の教育機関が融合した 立体キャンパス

新宿副都心に繭（コクーン）をイメージして建設された地上50階建ての超高層ビル「モード学園コクーンタワー」。ファッションの「東京モード学園」、IT・デジタルコンテンツの「HAL東京」、医療・福祉の「首都医校」の3校の専門学校が共存する立体キャンパスとなっています。この近代的な建造物は、中央部分のインナーコアと外周3面の「ダイヤモンド・フレーム」と呼ぶ格子の構造体によって構成されており、モダンな外観デザインを創出して新宿の新たなランドマークとして脚光を浴びています。

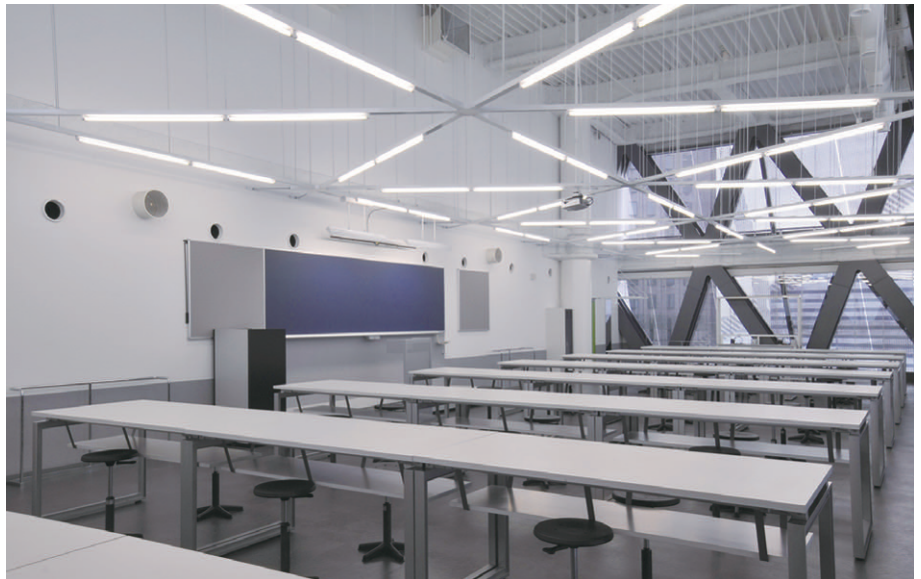
内部空間の平面構成は、インナーコアの周りに廊下を巡らせ、その外側3面に教室スペースを配置しており、3層ごとに交流の場として吹抜け空間の学生サロンを配しています。

特注トラフ器具をダイヤモンド形状に 配し、全教室に照度維持制御を採用

各教室の基本的な照明パターンは、Hf32W特注トラフ器具を1灯または2～3灯連結（一部4連結）にして、教室の広さに合わせたダイヤモンド形状のレイアウトを採用しています。

7階～23階が「首都医校」ゾーン、24階～35階が「HAL東京」ゾーン、36階～49階が「東京モード学園」ゾーンとなっており、全教室とも照度維持制御を採用して平均水平面照度を600lx程度の照度に設定しています。3面構造のうち太陽光が差し込みやすい南、西側の全教室では、あかりセンサを配置して、約25～100%調光を可能とする連続調光タイプを採用し、昼光利用による照明制御を行って省エネ化を図っています。一方、北側の教室では初期照度補正形電圧フリータイプを採用。ランプ初期の光出力を抑えながら余分な明るさをコントロールし、適正照度に設定しています。

近代的な建築に相応しいカラフルでファッションナブルなインテリアを各教室に取り入れ、パソコン教室やクリエイションルームなど、それぞれの特徴や用途に合わせて開放形またはルーパ付タイプを選択して、モダンで快適な学習環境を生み出しています。



パターンメイキングルーム Hf32W1灯用特注トラフ器具をダイヤモンド形状に連結配置させて、照度維持制御と連動させる



グラフィックデザインルーム 特注トラフ器具ルーパ付きを採用



クリエイションルーム カラフルなインテリアが特徴的



HAL東京の一般教室 バランスのある明るさ感を確保



ダイヤモンド形状の中央部にあかりセンサを設置

主な照明器具一覧				
設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
教室	特注トラフ器具調光形 (PD)	特注品	690	32WHf蛍光ランプ×1灯 (FHF32EX-W-H<白色>)
	特注トラフ器具調光形2連結 (PD)	特注品	1705	32WHf蛍光ランプ×2灯 (FHF32EX-W-H<白色>)
	特注トラフ器具調光形3連結 (PD)	特注品	120	32WHf蛍光ランプ×3灯 (FHF32EX-W-H<白色>)
	特注トラフ器具初期照度補正形 (PK)	特注品	376	32WHf蛍光ランプ×1灯 (FHF32EX-W-H<白色>)
	特注トラフ器具初期照度補正形2連結 (PK)	特注品	835	32WHf蛍光ランプ×2灯 (FHF32EX-W-H<白色>)
	特注トラフ器具初期照度補正形3連結 (PK)	特注品	123	32WHf蛍光ランプ×3灯 (FHF32EX-W-H<白色>)